

2024年度 保育施設における自己点検・自己評価

施設名 オハナゆめキッズハウス南流山

<評価方法>

◎2024年度の全体的な計画の編成と実施に関する評価を行った。

◎評価は施設に所属する全職員が実施を行い、その分布割合を示している。

A：そう思う B：どちらかというと、そう思う C：どちらかというと、そう思わない D：思わない

その他：回答的できない、知らない、対象外

項目	内容	自己評価分布				
		A	B	C	D	その他
保育目標	保育目標の具現化に向けて乳幼児の実態を踏まえた目標設定をしている。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	目標は、施設や地域の特色を生かしたものになっている。	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	目標は、地域社会の要請や保護者の願いを反映したものになっている。	50.0%	41.7%	0.0%	0.0%	8.3%
	目標は、前年度の反省を生かしている。	58.3%	25.0%	0.0%	0.0%	16.7%
保育計画	保育計画は乳幼児の実態に即して作成している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	保育計画は保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行えている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	保育計画は評価結果をもとに保育実践の改善に努めている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	年間計画・月間計画・週間計画・1日の計画については現行のやり方で問題ない。	50.0%	33.3%	8.3%	0.0%	8.3%
保育環境	生活の場にふさわしい環境とする取り組みを行っている。	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	くつろいだり、落ち着けるん場所や眠くなかったときに安心して眠る空間が確保されている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	子どもが主体的に遊びを選択肢、遊びこむことができる環境が整備されている。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達段階および興味関心に応じた遊具・玩具が用意されてコーナーを設置している。	50.0%	41.7%	8.3%	0.0%	0.0%
	玩具・素材・用具など、自分で選択して出して遊ぶことができる状態になっている。	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	食事のための空間の確保はできている。	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	季節の移り変わりを感じられるような空間構成ができるている。	33.3%	25.0%	41.7%	0.0%	0.0%
	保育士の声（大きさ・言葉遣い）や音楽などの音に関する配慮はできている。	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%
保育内	保育士自身が子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	子どもに対して分かりやすい豊かな言葉遣いで話している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子どもの気持ちを受け止めてその都度対応している。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、極力一人ひとりの子どもの状況に応じて対応できている。	66.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%

容 容	身近な自然や社会と関わることができる取り組みがなされている。	58.3%	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%
	様々な表現活動（音・アート・造形・身体表現等）が自由に体験できるように配慮されている。	16.7%	41.7%	41.7%	0.0%	0.0%
	遊びと生活を通して、人間関係が育まれるように配慮できている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
行 事	行事の種類や実施回数は適切である。	58.3%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	行事のねらいを計画や実施に十分活かせている。	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動になるように計画・実施をしている。	66.7%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%
	計画・実施・評価・改善の体制は取れている。	50.0%	41.7%	0.0%	0.0%	8.3%
	保護者の願いや意見を取り入れる体制がある。	41.7%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%
食 育	手づくりおやつや季節感のある旬の食材を給食に取り入れるなど、喫食状況に基づいた食育活動を工夫して行っている。	66.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%
	子どもの食生活を充実させるため、家庭との連携を行っている。	66.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%
	食物アレルギーは、個別に配慮し食事を提供している。	83.3%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%
健 康 管 理	登園時や保育中の子どもの健康管理はマニュアルがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	感染症への対応はマニュアルがあり、発生に際してその状況を保護者に連絡・周知を行っている。	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	専門医からの指示があった場合において、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	66.7%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%
	内科検診・歯科検診の結果について、職員や保護者に伝達をし、それを保育に反映させている。	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%
人 権 尊 重	子どもの人権に十分配慮するとともに、分化の違いを互いに尊重する心を育てるように配慮している。	83.3%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%
	子どもの権利擁護に関する知識を施設として有している。	66.7%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%
	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識が子どもに植え付けられないように配慮している。	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%
説 明 責 任	理念や基本方針が保護者に周知されている。	58.3%	16.7%	0.0%	0.0%	25.0%
	運営に関する情報提供（要覧、パンフレット）について伝える工夫を行っている。	58.3%	16.7%	0.0%	8.3%	16.7%
	利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。	50.0%	33.3%	0.0%	8.3%	8.3%
情 報 保 護 ・ 管 理	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。	83.3%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%
	利用者のプライバシー保護に関する規定・マニュアルなどを整備している。	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%
	各書類帳簿は適切な時間・方法で作成・処理し保存されている。	66.7%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%
	遵守すべき法令などを正しく理解するための取り組みを行っている。	66.7%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%
苦	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	50.0%	33.3%	0.0%	8.3%	8.3%

情 処 理	苦情解決の仕組みが確立され、十分に周知・機能している。	33.3%	41.7%	0.0%	0.0%	25.0%
	苦情受付をしたものについては、必要に応じて第三者委員や行政に相談できる体制になっている。	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
保 護 者 支 援	自治体、医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報提供を行っている。	58.3%	25.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換にくらべて、必要に応じた個別面談などを行っている。	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%
	家庭状況や保護者との情報交換の内容は必要におうじて記録されている。	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%
虐待 防 止	虐待を受けていると疑われている子どもの早期発見に努め、得られた情報が園長に届く体制ができている。	91.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
	虐待を受けていると疑われている子どもの保護者への対応について、児童相談所等の関係機関に照会・通告を行う体制がある。	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
事 安 故 全 防 対 策	調理場、水回りなどの衛生管理はマニュアル等に基づき適切に実施されている。	58.3%	25.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	事故防止に関する仕組み（マニュアル・委員会）があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
	事故が発生した場合の対応フローが定まっている。	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
	施設内外の安全点検を計画的に行っている。	58.3%	8.3%	16.7%	0.0%	8.3%
	不審者等に対する周到な配慮を行っている。	58.3%	25.0%	8.3%	0.0%	8.3%
	乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関などと連携を図ることができている。	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%
研 修 計 画	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明治されている。	75.0%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%
	個別の職員に対して、組織として教育・研修計画が策定され、計画に基づき具体的な取り組みが行われている。	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
	定期的に教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%
	職員の質の向上に対する取り組みを全社的に行っている。	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%
開 か れ た 施 設 づ くり	<施設感交流>					
	系列園など他施設等の間で保育計画にもとづき交流計画が立てられている。	58.3%	25.0%	0.0%	8.3%	8.3%
	系列園など他施設の乳幼児と交流を通して乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような計画・配慮・援助・支援ができている。	41.7%	33.3%	0.0%	0.0%	25.0%
	<地域との交流>					
	地域との関係が適切に確保されている。	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	施設が有する機能を地域に還元できている。	41.7%	33.3%	0.0%	8.3%	16.7%
接 続 小 学 校	ボランティア等の受入に対して積極的に受入を行っている。	50.0%	8.3%	8.3%	0.0%	33.3%
	小学校との間で職員同士の交流の機会を設け、子どもの発達・発育などに関する事前に共有して連携する体制が整備されている。	0.0%	33.3%	8.3%	0.0%	58.3%
	自治体が開催する保幼小連携会議などに職員が出席し、小学校の接続に向けた準備を進めている。	8.3%	25.0%	8.3%	0.0%	58.3%

その他の意見	<p>・施設の目標は所属園児の発育発達に照らし合わせながら計画の作成と振り返りに基づいた保育の展開を行っている。しかし、保護者・職員全体への理解の浸透はまだ不十分と感じる。より具体的な言語化・説明・提案を通して利用保護者への理解と職員の保育に対しての理解を深めたい。また、保育者がより保育に専念できる計画立案の方法に変更できるよう精査していく。合わせて地域社会との連携・保護者・地域住民との協働についてより力を入れ、施設と地域が一体化した「まちづくり」を目指していく。</p> <p>・環境構成や人的環境については日々振り返り改善に努めている。異年齢保育の中で子どもたちが自分より幼い子に関わる時の加減、優しさが育まれている。また、同年齢の中では問題解決に向かおうとする行動の芽生えも経験の中で培われている。半面、一人一人が遊び込める・休息できる・情緒の安定ができる空間づくりの為には人的環境の知識・意識の向上と視野とポジショニングのトレーニングが必要。</p> <p>・利用者を含め、施設で働く同僚に対しての人権尊重・人権擁護の観点については必要に応じて会議等で説明している。職員から不明な点、疑問に思った点は頻繁に質問が上がるようになった。今後組織として資質向上のためにより理解を深めるための研修と新しい情報の共有に努めたい。</p> <p>・不審者対策については職員一人一人の施錠確認が不十分であり、引き続き指導を徹底していく。 職員の研修についてはねらいを持って実施しているが、個別の研修計画については明確に出せるものがない。また、プライバシー保護の観点から施設長と必要に応じて会社役員が把握しているのみになっている。 今後個別の面談記録を通して、職員自身の目標達成と質の向上までの課題について行う指導計画を明確に作成する。</p>
--------	--